

公益財団法人 上廣倫理財団
公益財団法人 角川文化振興財団 助成事業

第29回 俳句甲子園 (全国高等学校俳句選手権大会) 実施報告書

主催:NPO法人俳句甲子園実行委員会 共催:松山市、愛媛県
後援:文部科学省、(公社)全国高等学校文化連盟 ほか



【大会最優秀句・文部科学大臣賞】

明日には今日は昨日になる 泳ぐ



高校生にしか語れない俳句がある



<俳句甲子園の目的>

全国各地から俳句という文学を介して高校生たちが松山に集い、日本語を操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的としています。

<開催趣旨>

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。P. ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は500万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる法楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生させた正岡子規をはじめとして、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られた

俳人を輩出した伝統的風土があります。

俳句は、現代を生きる人々の心をく五・七・五という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一堂に参集し、俳句を楽しみ、交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句に相応しく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように<俳句甲子園>は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

(1997年当時作成)

＜大会運営＞

大会の運営はNPO法人を中心としながら、大会を卒業したOBOGや市民で構成される100名以上のボランティア、地元松山市の職員が連携しながら実施します。また文部科学省や、全国高等学校文化連盟などの後援もいただき、高校生の良き学びの場、新たな交流や成長の場となるよう配慮した運営をしています。

＜大会スケジュール＞

6月に地方大会、8月に全国大会を行います。参加可能な地方大会会場が近くに無い場合等は投句審査（句のみの書類選考）にてエントリーする事も可能です。

＜29回大会日程＞

2月3日…「大会募集要項」「開催要綱」発表

4月1日…地方大会兼題 発表

5月8日…エントリー締め切り

6月13～14日、20～21日…地方大会
（全国11都市17会場）

6月26日…全国大会出場チーム 発表

8月21～23日…全国大会

◆大会1日目

ウェルカムパーティー、組合せ抽選会、敗者復活戦席題発表・提出

◆大会2日目

開会式、予選リーグ、予選トーナメント

◆大会3日目

敗者復活戦、決勝リーグ、決勝、表彰式、フェアウェル交流会

＜兼題＞

◆地方大会

「夏近し」「鶯」「蒺藜草」「霾」

◆全国大会

予選リーグ第1・2試合「網戸」

予選リーグ第3・4試合「蝙蝠」

予選リーグ第5・6試合「バナナ」

予選トーナメント「風薫る」

敗者復活戦「秋思」

決勝リーグ第1試合「十六夜」

決勝リーグ第2試合「色鳥」

決勝リーグ第3試合「玉蜀黍」

決勝戦「明」

＜審査員長＞

高野 ムツオ（小熊座主宰）／中原 道夫（銀化主宰）／星野 高士（玉藻主宰）／小澤 實（澤主宰）／夏井 いつき（いつき組組長）／高田 正子（青麗主宰）／森賀 まり（百鳥、静かな場所）／岸本 尚毅（天為、秀）／堀田 季何（楽園主宰）／阪西 敦子（ホトトギス、円虹）／村上 鞆彦（南風主宰）／西村 麒麟（麒麟主宰、古志）／神野 紗希（俳句雑誌noi代表）

＜ウェルカムパーティー・組合せ抽選会＞

今年度もウェルカムパーティーを開催し、選手たちは親交を深めました。また、パーティーの中で組合せ抽選会を実施しました。抽選会後は敗者復活戦の席題「秋思」が発表され、選手たちはチームで協力し句を作成しました。戦いはもう始まっています。



<エントリーチーム>

26都道府県86チームからのエントリーがあり、16都道府県32チームが全国大会へ出場しました(うち3チームが全国大会初出場)。

(※は合同チーム、★は地方大会優勝による全国大会出場チーム、◎は投句審査による全国大会出場チーム)

都道府県名	チーム名	エントリー回数	参加区分・会場
北海道	北海道旭川東高等学校A	24	地方大会・札幌会場
	北海道旭川東高等学校B	24	地方大会・札幌会場
	北海道旭川西高等学校	3	地方大会・札幌会場
	旭川実業高等学校	5	地方大会・札幌会場
	北海道札幌西高等学校	7	地方大会・札幌会場
	北海道札幌北高等学校 ★	2	地方大会・札幌会場
青森県	青森県立弘前高等学校	12	地方大会・北上会場
岩手県	岩手県立水沢高等学校 ★	22	地方大会・北上会場
	岩手県立盛岡第一高等学校	14	地方大会・北上会場
	岩手県立花巻北高等学校	6	地方大会・北上会場
宮城県	仙台市立仙台高等学校	5	地方大会・多賀城会場
秋田県	秋田県立秋田北高等学校	8	地方大会・北上会場
山形県	山形県立山形東高等学校 ★	5	地方大会・多賀城会場
	山形県立山形南高等学校A	10	地方大会・多賀城会場
	山形県立山形南高等学校B	10	地方大会・多賀城会場
福島県	福島県立磐城高等学校	13	地方大会・多賀城会場
茨城県	茨城県立結城第二高等学校	15	地方大会・高崎会場
	茨城県立下館第一高等学校 ★	17	地方大会・東京会場
群馬県	群馬県立高崎高等学校	9	地方大会・高崎会場
	群馬県立高崎女子高等学校A ★	4	地方大会・高崎会場
	群馬県立高崎女子高等学校B ◎	4	地方大会・高崎会場
	群馬県立伊勢崎高等学校A	2	地方大会・高崎会場
	群馬県立伊勢崎高等学校B	2	地方大会・高崎会場
埼玉県	星野高等学校A	10	地方大会・高崎会場
	星野高等学校B ★	10	地方大会・高崎会場
千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	2	地方大会・東京会場
東京都	開成高等学校A ★	26	地方大会・東京会場
	開成高等学校B ◎	26	地方大会・東京会場
	海城高等学校A ◎	13	地方大会・東京会場
	海城高等学校B ◎	13	地方大会・東京会場
	学習院女子高等科 ◎	3	地方大会・東京会場
	明治大学附属中野高等学校	5	地方大会・東京会場
	駒場東邦高等学校	2	地方大会・東京会場
	※ 東京家政学院・三輪田学園高等学校 ◎	初(8・初)	地方大会・東京会場
神奈川県	慶應義塾湘南藤沢高等部A ★	14	地方大会・横浜会場
	慶應義塾湘南藤沢高等部B	14	地方大会・横浜会場
	神奈川県立横浜翠嵐高等学校A ★	10	地方大会・横浜会場
	神奈川県立横浜翠嵐高等学校B	10	地方大会・横浜会場
	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	13	地方大会・横浜会場
	洗足学園中学高等学校A ◎	4	地方大会・横浜会場
	洗足学園中学高等学校B ◎	4	地方大会・横浜会場
	神奈川県立橋本高等学校 ◎	2	地方大会・横浜会場
	横浜隼人高等学校	2	地方大会・横浜会場
長野県	長野県屋代高等学校	13	地方大会・高崎会場

岐阜県	大垣日本大学高等学校A	7	地方大会・大垣会場
	大垣日本大学高等学校B	7	地方大会・大垣会場
	聖マリア女学院高等学校	9	地方大会・大垣会場
	岐阜県立飛騨神岡高等学校	21	地方大会・大垣会場
	鸛谷高等学校A ◎	7	地方大会・大垣会場
	鸛谷高等学校B ★	7	地方大会・大垣会場
愛知県	愛知県立時習館高等学校	3	地方大会・刈谷会場
	名古屋高等学校A ★	15	地方大会・刈谷会場
	名古屋高等学校B ◎	15	地方大会・刈谷会場
	愛知県立岡崎東高等学校	10	地方大会・刈谷会場
	愛知県立豊橋西高等学校	10	地方大会・刈谷会場
京都府	洛南高等学校 ★	24	地方大会・大阪会場
	京都共栄学園高等学校 ★	3	地方大会・大阪会場
兵庫県	灘高等学校	12	地方大会・大阪会場
	明石工業高等専門学校	初	投句
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	11	地方大会・大阪会場
	智辯学園和歌山高等学校 ◎	8	地方大会・大阪会場
岡山県	岡山県立岡山朝日高等学校A	16	地方大会・大阪会場
	岡山県立岡山朝日高等学校B	16	地方大会・大阪会場
山口県	山口県立徳山高等学校 ★	13	地方大会・防府会場
	山口県立下松工業高等学校A	4	地方大会・防府会場
	山口県立下松工業高等学校B	4	地方大会・防府会場
	山口県立防府高等学校	4	地方大会・防府会場
愛媛県	済美平成中等教育学校 ★	22	地方大会・松山会場
	新田青雲中等教育学校 ★	12	地方大会・松山会場
	松山学院高等学校A	3	地方大会・松山会場
	松山学院高等学校B	3	地方大会・松山会場
	愛光高等学校	21	地方大会・松山会場
	愛媛県立松山東高等学校A ◎	28	地方大会・松山会場
	愛媛県立松山東高等学校B	28	地方大会・松山会場
	愛媛県立松山西中等教育学校	18	地方大会・松山会場
	愛媛大学附属高等学校	7	地方大会・松山会場
	愛媛県立今治西高等学校 ★	21	地方大会・松山会場
	愛媛県立今治西高等学校伯方分校	27	地方大会・松山会場
	愛媛県立新居浜西高等学校	15	地方大会・松山会場
高知県	土佐高等学校	7	地方大会・松山会場
	高知県立大方高等学校	初	地方大会・松山会場
福岡県	福岡県立八女高等学校	7	地方大会・防府会場
	福岡県立育徳館高等学校	3	投句
熊本県	熊本信愛女学院高等学校 ◎	26	投句
沖縄県	興南高等学校A ◎	11	地方大会・大阪会場
	興南高等学校B	11	地方大会・大阪会場

全国大会



北海道札幌北高等学校
(北海道)



岩手県立水沢高等学校
(岩手県)



山形県立山形東高等学校
(山形県)



茨城県立下館第一高等学校
(茨城県)



開成高等学校B
(東京都)



海城高等学校A
(東京都)



海城高等学校B
(東京都)



学習院女子高等科
(東京都)



洗足学園中学高等学校B
(神奈川県)



神奈川県立橋本高等学校
(神奈川県)



鶯谷高等学校A
(岐阜県)



鶯谷高等学校B
(岐阜県)



智辯学園和歌山高等学校
(和歌山県)



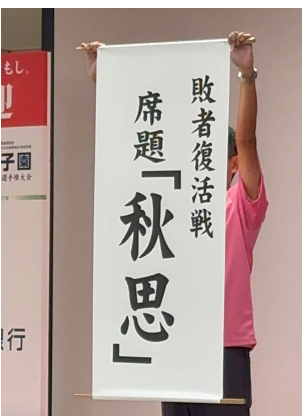
山口県立徳山高等学校
(山口県)



済美平成中等教育学校
(愛媛県)



新田青雲中等教育学校
(愛媛県)



出場チーム一覧



群馬県立高崎女子高等学校A
(群馬県)



群馬県立高崎女子高等学校B
(群馬県)



星野高等学校
(埼玉県)



開成高等学校A
(東京都)



東京家政学院・三輪田学園高等学校
(東京都)



慶応義塾湘南藤沢高等部
(神奈川県)



神奈川県立横浜翠嵐高等学校
(神奈川県)



洗足学園中学高等学校A
(神奈川県)



名古屋高等学校A
(愛知県)



名古屋高等学校B
(愛知県)



洛南高等学校
(京都府)



京都共栄学園高等学校
(京都府)



愛媛県立松山東高等学校
(愛媛県)



愛媛県立今治西高等学校
(愛媛県)



熊本信愛女学院高等学校
(熊本県)



興南高等学校
(沖縄県)

OBOG会

俳句甲子園経験者の有志によりOBOG会が結成され、俳句甲子園を支えています。地方大会や全国大会は、大勢のOBOGのボランティアスタッフが運営に携わり、この報告書にも彼らが撮影した写真が多く使われています。

毎年多くのOBOGが「俳句甲子園をもっと盛り上げていこう」、「俳句甲子園に恩返しを」など、様々な想いで応援してくれています。





予選リーグ・予選トーナメント



<予選リーグ、予選トーナメント>

約480mの大街道商店街アーケードに8つの特設ブロック会場が設けられます。参加32チームが1ブロック4チームに分かれ、決勝リーグ進出をかけ火花を散らせます。

相手の俳句のポイントを的確に見抜き、鑑賞し、質問する言葉の応酬。言葉と言葉の真剣勝負に道行く人は思わず魅了され、立ち止まります。審査員の旗が上がり勝敗が決まるたびに、会場では拍手や歓声があがります。

<評価の基準>

◆作品点（10点満点）

各審査員が、提出句ごとに10点満点で俳句の創作力を総合的に評価します。



◆鑑賞点（1点）

各審査員が、対戦ごとに質疑応答を審査して、各チームの総合鑑賞力を評価し、鑑賞力の上まるチームにのみ1点を付与します。

◆合計ポイントが同じ場合

原則として、作品点の高いチームの勝利となります。但し、同点でかつ、減点がある場合は、減点のない又は減点数の少ないチームの勝利となります。

<競技の際の注意点>

◆相互の鑑賞力を促進する為、対象句側のチームによる句の自発的な解説は認めません。

◆お互いに俳句という文学的フィールドの中で、協議対象句に対する個々の見識・感受性・創造力を競い合うことを目的とする対戦であり、決して作品・個人に対する誹謗中傷の場ではありません。

敗者復活戦・決勝リーグ



<敗者復活戦>

組合せ抽選会終了後に発表された席題で、定められた時間内に、チームで1句創作し、事前に審査員長13名が作品点上位5チームを選出します。ここに、1日目の予選トーナメントで敗れた4チームが加わり、計9チームが敗者復活戦に臨みます。敗者復活戦は各チーム代表者2名が登壇、句を披露、審査員長との質疑応答（1分）を行います。作品点と鑑賞点の合計で上位2チームを選出します。

今大会の席題は「秋思」で、「砂浜に覚めて秋思はいづこより」の洗足学園中学高等学校Aが1位、「ペリカンの魚を呑みたる秋思かな」の京都共栄学園高等学校が2位となり、決勝リーグへと駒を進めました。

決勝戦・表彰式



＜決勝リーグ・決勝＞

松山市総合コミュニティセンターでは、YouTubeのライブ配信が行われ、全国の視聴者が試合の行く末を見守ります。

予選トーナメントを勝ち進んだ、開成高等学校B、海城高等学校A、名古屋高等学校A、神奈川県立横浜翠嵐高等学校と、敗者復活戦を勝ち抜いた洗足学園中学高等学校Aと京都共栄学園高等学校の6チームがぶつかります。決勝リーグは「十六夜」「色鳥」「玉蜀黍」を兼題として、Aブロック、Bブロックに分かれて、3校ずつが熱戦を繰り広げ、それぞれのブロックを勝ち抜いた海城高等学校Aと神奈川県立横浜翠嵐高等学校が決勝戦に進みました。

「明」を兼題に戦った決勝は、海城高等学校Aが3－0で神奈川県立横浜翠嵐高等学校を下し、初優勝を成し遂げました。

<大会結果>

優勝：海城高等学校A（東京都）

準優勝：神奈川県立横浜翠嵐高等学校（神奈川県）

3位（決勝リーグ進出チーム）

開成高等学校B（東京都）

名古屋高等学校A（愛知県）

洗足学園中学高等学校A（神奈川県）

京都共栄学園高等学校（京都府）

<フェアウェル交流会>

今年は、決勝リーグの会場でもあった松山市総合コミュニティセンターのキャメリアホールで開催されました。激戦を終えた選手たちが一堂に集結し、大会の思い出や、それぞれが作った句に対して、熱く語り合いました。

また、OBOGたちとも交流を深め、これからの俳句活動についても考えを深める光景も見られました。

<審査員長評(要旨)>

高田 正子 先生

皆さん全力疾走して、ゴールのテープを切ったような顔をなさっていますね。苦しくも楽しい二日間、どうも大変お疲れ様でした。

今年も良い句がたくさんありました。その中で、一句決めなければいけない。それは私たちにとって悩み以外の何物でもありません。しかしながら、そこを越えて一句選ぶことができたというのは、それもまた私たちの喜びにほかなりません。

改めて俳句甲子園には様々な時間が交わっている、そんなことを感じています。生徒の皆さんの過去から未来へ続いていく時間、先輩から後輩へと受け継がれていく学校での時間、そして俳句甲子園を作り、支え、続けていってくださる方々の時間。

それが今この時、この場で交わっています。この先、離れることがあるかもしれませんが、でも今ここで交わることがとっても大事です。皆さんと今年のこの時間を共有できたことに心から感謝します。

この時間が、これからの皆さんにとって有意義なものになりますように。皆さんの未来に期待しています。頑張ってください。ありがとうございました。

【個人最優秀賞・文部科学大臣賞】



明日には今日は昨日になる 泳ぐ
海城高等学校A 下谷 陽太

<審査員長講評(抜粋)>

神野 紗希 先生

優勝を決めた一句が最優秀賞にもなるという劇的な、記憶に残る一句になりました。

今日という時間も、明日になれば昨日という過去になってしまう。

そんなこの世の摂理を受け止め、それでも泳ぐ、それでも生きるという必死な抗いに、混迷の時代を生きる明日への希望を見たいと思います。

本当に素晴らしい句でした。おめでとうございます。



最優秀賞（文部科学大臣賞）

明日には今日は昨日になる 泳ぐ 海城高等学校 A

下谷 陽太

〈優秀賞〉

とうもろこし前歯総出の皆無言 済美平成中等教育学校 重見実幸

もろこしのひげに朝日のひつかかる 愛媛県立松山東高等学校 河村みなみ

ソーダ水未来明るいからこわい 洗足学園中学高等学校 A 保田美季

文明はいつまでであるか虫の間 山口県立徳山高等学校 永井八郎

秋桜ありて明るき雨後と死後 開成高等学校 B 高橋優作

邯鄲の震へ夜明けの加速する 学習院女子高等科 田口茉優

明るくて苦しくて檸檬となりぬ 山形県立山形東高等学校 東海林あや

色鳥やまた少し掘る法隆寺 開成高等学校 A 原島奏

カンバスの後ろまづくバナナの黄 京都共栄学園高等学校 斎藤美桜

こきと折るバナナの皮の剥き始め 群馬県立高崎女子 堺風歌

去れる吾を網戸の画素で見てゐるのか 名古屋高等学校 A 東野礼豊

十六夜の地球灰かに光りをり 学習院女子高等科 加藤優陽

ジャージンスカー ト蝙蝠と立ち漕ぎ 済美平成中等教育学校 川口心実

〈入選〉

網窓で夜を透析して眠る

猫の毛の少しはみ出す網戸かな

手榴弾なんてとうもろこしにしてしまえ

豆苗の伸びすぎてゐる網戸かな

海流に雲の生まれてバナナ熟る

月光の明るさに解く祭髪

太陽を追つてバナナの曲がりけり

もろこしの粒の跡へと粒倒れ

遅しき埴輪の足や風薫る

バナナ食う明日のことは明日やる

明るからむわれらひとつの虹ならば

大家族うちの網戸のよく外れ

唐黍の大星団へ穂を伸ばす

バナナ挽ぐ青きバナナを押さへつつ

書き終へて朝日を通す網戸かな

塾の風鈴ぱぱっと明を減ぼして

野良猫のあだ名は社長風薫る

とうもろこしかじって奴隷船解放

蝙蝠やあいつに届け超音波

玉蜀黍先端へ粒なだれ込む

北海道札幌北高等学校

岩手県立水沢高等学校

茨城県立下館第一高等学校

星野高等学校

開成高等学校 A

開成高等学校 A

海城高等学校 B

学習院女子高等科

東京家政学院高等学校

慶應義塾湘南藤沢高等部

神奈川県立横浜翠嵐高等学校

神奈川県立橋本高等学校

鷺谷高等学校 A

名古屋高等学校 B

洛南高等学校

京都共栄学園高等学校

新田青雲中等教育学校

愛媛県立今治西高等学校

熊本信愛女学院高等学校

興南高等学校

好光怜奈

高野昊

谷島希明

鈴木海南

太田惺

谷口和洋

入江亮輔

本間まどか

高柳翠里

泉祐司

池田光希

森下大心

川崎雅怜

近藤理仁

前田佑介

松尾理恵子

小松春花

久保田丸慈

坂本怜

安座間稟



すべての今日は、俳都に通ず。

第30回大会へ

＜お問い合わせ先＞

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 事務局

〒790-0014 愛媛県松山市柳井町2丁目21-3

TEL : 089-943-1512 (平日13:00~17:00)

E-mail info@haikukoushien.com

又は 松山市坂の上の雲まちづくり部 文化・ことば課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

TEL 089-948-6524 FAX 089-934-1913

E-mail bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp